

1.17 兵庫・神戸の生活関連商材メーカーなど89社が新商品・売れ筋商品を紹介



中小企業の販路開拓支援事業の一環として、地元企業が新商品や売れ筋商品を展示紹介する「2019ひょうご・神戸合同商品展示会」を神戸サンポーホールで開催した。

本展示会は、当商工会議所が地元中小企業に商品PRの機会を安価な費用で提供するとともに、商談会等でゆかりのあるバイヤー企業などに来場を幅広く呼び掛けて、双方のマッチングを図るもの。

今回は、衣・食・住の展示ゾーンに加え、訪日外国人をターゲットにした商品を展示する「インバウンド商材ゾーン」を新たに設置。地元企業89社が出展し、来場した約

400名のバイヤーなどと商談を行った。

展示会当日に行われた名刺交換・商談件数は1,838件ののぼり、参加した企業からは、「ホテルの売店で取り扱っていただく商談が成約した」「来場者、出展者を問わず様々な業種の企業と情報交換でき、とても有意義だった」との声が聞かれた。

また、来場したバイヤーからも「出展している企業のジャンルが幅広くとても興味深い展示会だった」「多くの企業が集まっていて、各社の新商品の情報収集が一挙にできるいい機会だった」との感想が寄せられた。

経営支援センター

1.30 「生産性向上」「現場改善」に最適 中堅・中小企業に導入しやすいIoTツールを紹介



次世代産業委員会は、中堅・中小企業へのIoT導入を支援するため、「KCCI神戸IoTワールド」を開催。IoTの最新動向などに関する特別講演会とIoTツールを一堂で紹介する展示会を実施した。

特別講演会は、(一社)クラウドサービス推進機構理事長の松島桂樹氏を講師に迎え、「中小企業におけるIT・IoTの活用」をテーマに開催した。松島氏は各地域におけるIoTなどを活用した中小企業の事例を紹介。「自社だけで取り組むのではなく、地元支援機関などの相談窓口を活用しながら、IoTやAI、ロボットを導入することで生産性向上や経営課題解決につなげてほしい」と強調した。

また、IoTツール展示会には、i Smart Technologies(株)(愛知県碧南市)、IDEC(株)(大阪市)、飯山精器(株)(長野県中野市)、旭光電機(株)(神戸市)、(株)コンテック(大阪市)、(株)シーイーシー(大阪市)、(株)ジェイテクト(愛知県刈谷市)、(株)パトライト(大阪市)の8社が出展。ブースでの展示だけでなく、概要や導入事例を紹介するプレゼンテーションも行い、PRを行った。

フォーラムには130名を超える来場者があり、展示会場では各ブースで熱心に質問する姿も見られ、IoT導入に向けた関心の高さが伺えた。

産業部産業・国際チーム

1.16 18大会ぶりの日本一 神戸製鋼のラグビー選手と交流



今年9月からのラグビーワールドカップ2019™日本大会神戸開催控え、国際ビジネス委員会は、神戸市を拠点に活動するラグビーチーム「神戸製鋼コベルコスティーラーズ」のアンドリュー・エリス選手、イーリ・ニコラス選手をスピーカーに迎え、第4回「International Exchange Meeting」を神戸倶楽部で開催した。

両選手は、トップリーグ無敗で10度目の優勝を果たした今シーズンを振り返り、会社の看板とチームの歴史を背負って戦っているという「意識改革」がチームに大きな変化をもたらしたと語った。参加者からは、ニュージーランドと日本のラグビーの違いや、強さを維持できるチーム作りなどについて、多くの質問が寄せられた。

産業部産業・国際チーム

1.25 相手に伝わり、心を動かす プレゼンテーション手法について学ぶ



聞き手を効果的に説得し、単なる理解ではなく「納得」させるレベルのプレゼンテーションスキルを身に付ける事を目的に、デール・カーネギー・トレーニング・ジャパン(株)の石原由一朗氏を講師に迎え、「説得力のあるプレゼンテーションの秘訣」をテーマにセミナーを開催した。

石原氏は、話し手本位の説明口調のプレゼンテーションでは、聞き手が退屈するばかりでなく、共感も得られないと解説。表情、身振り手振り、声の大きさなども意識した上で、話し手が感情を込めて伝えることが最も重要であるとし、受講者ひとり一人のプレゼンテーションスタイルについて、改善点をアドバイスした。

事業部人材開発チーム

1.21 人手不足時代の 労務管理のあり方について学ぶ



新会員が会議所事業に積極的に参加していただくためのきっかけづくりとして入会2年以内の会員を対象に新会員懇談会を開催した。

当日は、セミナーと交流会の2部構成で、まず、特定社会保険労務士の西本恭子氏を講師に迎え、「知っておきたい!人が集まる☆労務管理」をテーマにセミナーを開催した。西本氏は人手不足が深刻化する中、人材を定着させるには、従業員の私生活上の「事情」に配慮し、補い合える組織づくりが重要と強調した。

セミナー終了後、当商工会議所の役員・議員も加わり交流会を開催し、73名の参加者が相互に交流の輪を広げた。

管理部会員チーム

1.25 事業承継の重要性と タイプ別の経営課題対策を学ぶ



中小企業の円滑な事業承継を支援するため、中小企業事業引継ぎ支援全国本部プロジェクトマネージャーの宇野俊英氏を講師に迎え、「事業承継の第一歩を踏み出そう」をテーマにセミナーを開催した。

当日は、経営者や後継者が参加し、事業承継の現状と対策の重要性や、円滑に進めるためのポイントなどについて説明を聞いた。

宇野氏は、「雇用維持や取引先との関係継続のためにも事業引継ぎは重要」と指摘。企業の経営環境に応じて承継方法を適切に選択するよう呼びかけた。講演後は支援機関の支援メニューの紹介や専門家による個別相談会を実施した。

経営支援センター